高等学校第１学年　保健体育科学習指導案

必修

１　単元名　現代社会と健康　がんの予防と回復

２　本時の目標

（１）がんのリスクを軽減し予防するためには、調和のとれた健康的な生活を続けることや、がん検診を受診することが必要であることを理解する。（知識）

（２）がんのリスクを軽減し予防するための生活や行動を考える。（思考・判断・表現）

３　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習内容 | 学習活動　「・」予想される生徒の思考 | ◇教師の指導　等 |
| 導入 | 1.がんの種類について理解する。 | ○がんにはどんな種類があるか、知っていることを発表する。  ・肺がん　・大腸がん　・胃がん  ・乳がん　・子宮頸がん  がんになるリスクを軽減し、予防するための生活や行動について考えよう。 | ◇発表後、日本の主ながんの罹患数と死亡数を提示する。 |
| 展開 | 2.がんのリスクを減らす行動を考える。  3.がん検診の必要性について考える。  4.がんの治療法について理解する。 | ○がんになるリスクを減らす行動を考える。  ＜グループ交流＞  ・バランスよく食べるようにしたい。  ・適正体重を維持したい。  ・将来、たばこは吸わないようにしたい。  ○がん検診の必要性について考える。  ・多くのがんは、早期に発見すれば、約９割が治る。  ・自覚症状がない期間に検診によって早期発見することが重要だ。  ○なぜがん検診の受診率が低いか考える。  ＜グループ交流＞  ・受ける時間がない、自分は大丈夫だと思う気持ちもわかるが、早期発見受診すべき。  ○がんになった場合の治療法について考える。  ＜調べ学習＞タブレットを活用して調べる。  ・主に化学療法、放射線療法、手術療法があり、それぞれの治療法には特徴がある。  ・緩和ケアというものもある。 | ◇「がんを防ぐための新１２か条」を提示する。  ※がんの原因は生活習慣だけでないことを押さえる。  ◇がんの病期別５年相対生存率のグラフを提示する。  ※がんの進行速度、自覚症状が現れる年数について押さえる。  ◇がん検診の受診率のグラフを提示する。  ※生涯の内、二人に一人はがんにかかることを再度押さえる。  ◇インフォームド・コンセント、セカンド・オピニオンについて説明し、自分で治療法を選択する大切さについて伝える。 |
| まとめ | 5.本時のまとめ | ○本時で学んだことをまとめる。  ・がん検診の必要性がわかったので、家族にも伝えたい。  ○次の時間、外部講師（医師やがん経験者）に聞きたいことをまとめる。  ・治療法の選択について詳しく知りたい。  ・家族ががんになったら、自分たちにできることはあるのか聞きたい。 | ◇学習内容を振り返るとともに、もっと詳しく知りたいと思った内容をまとめ、次時につなぐ。   |  | | --- | | 【評価基準】知識  がんのリスクを軽減し予防するために必要なことをまとめている。 | |